



1. ブリッジ第15号の発行にあたって

令和4年度は「みんなで拓く「農業」「地域」「組織」の未来」をスローガンとする第7次中期3カ年計画がスタートします。組合員の皆様のニーズや各種取り組みに対する評価を事業運営に反映させながら、自己改革目標を目に見える形で達成できるよう、総力をあげて計画を実践してまいります。「自己改革通信ブリッジ」では今年度もJA自己改革についての情報を発信していきます。皆様の営農活動にお役立ていただくとともに、引き続き各種取り組みについてご意見・ご要望を頂戴できれば幸いです。

2. 集落座談会などで頂いた意見に対するJAの回答(取り組み状況)

昨年度、皆様から頂戴したご意見の一部とそれに対するJAの回答(取り組み状況)をお繋ぎします。感染症禍にあって対話機会が制限されている状況ですが、協同組合として組合員の皆様の声を事業運営に反映すべく、今後も対話活動を強化してまいります。

Q1 コロナ禍で集まる機会がないので、部会など組織向けにSNS等で情報発信してみてもいいか。また、コロナ過でもできる新たな活動の検討が必要ではないか。

A1 営農情報や直売情報などについてはSNSにより情報発信を行っており、第7次中期計画においても組合員サービスの向上に向けてデジタル化を推進します。今後、部会・組織向けにもSNS等の活用を検討し、情報発信の強化を図るとともに、各種活動においてはコロナ感染拡大防止策を講じながら新たな様式での開催に取り組めます。

.....【JAえちご上越の話題をSNS等で発信中！】.....

<p>営農情報</p>	<p>JAえちご上越 公式情報</p>	<p>JAえちご上越 営農部公式情報</p>
<p>あるるん村情報</p>	<p>JAえちご上越 公式情報</p>	<p>JAえちご上越 公式HP</p>

Q2 総代定数削減の理由を教えてください。組合員の意思反映機能が低下しないか心配である。

A2 正組合員の減少、農業者の高齢化、世代交代、集落組織の変化などにより各地域での総代選出が困難になってきています。これを踏まえ、少数かつ多様な総代の選出を可能とするため、令和元年の総代会で総代定数の変更等について承認いただきました。今後は更に組合員の皆様との対話活動を強化していくとともに意思反映機会の創出に努めてまいります。

Q3 営農指導員が総合担当制となるのは助かるが、スキル的に対応は可能なのか。また、教育体制はどのようになっているか。

A3 支店担当の営農指導員が営農全般に対する総合相談機能を担います。また、専門的な対応については本店や営農センターに配置している各分野の専任指導員がフォローする体制としています。令和3年度より各種研修会を実施し、新体制への移行に備えてきましたが、今後も定期的な研修を重ねることによりスキルアップを図ってまいります。

Q4 農業現場において労働力不足が課題となっている。JAが主体となって農業の人材を斡旋・紹介する仕組みを作してほしい。

A4 令和4年度から新たに労働力支援のためのマッチングアプリ「デイワーク」を活用した支援に取り組めます。また、雇用にあたり必要な労働保険の事務手続きについても併せて支援してまいります。

1日農業バイトの仕組み

利用料 無料

※求人者(生産者)については令和5年から有料化を検討しています

1日単位から農業で働きたい人と組合員(生産者)をつなぐスマートフォンアプリです。

※詳しい内容につきましては各営農センターへお問い合わせください。

3. 令和3年度農業者支援プログラム実績と令和4年度支援計画

地域農業の活性化に向けて創設した「地域農業振興積立金（積立目標額2億円）」を活用し、令和4年度も下記一覧に基づく各種支援を計画しています。

農業者支援プログラム一覧

支援策	支援内容	支援基準	支援額（千円）	
			令和3年度実績	令和4年度計画
営農	1 集出荷施設運営協力にかかる経費支援	一次選別の効率化を図るため、必要な機械導入費の一部を支援	470	500
	2 園芸排水対策支援	全農にいがたレンタル機械（排水対策）利用料に対する助成	15	80
	3 畜産関連支援	・乳牛導入経費の一部支援 ・自家産牛（乳用種）の分娩に対する助成 ・枝肉重量奨励金	303	500
	4 畜産関連支援	・良質肉生産に対する助成 ・移転運搬に対する助成 ・購入受精卵にかかる一部費用助成等	816	1,000
	5 越の丸なす青枯病対策支援	青枯病対策で接木の際の苗代金支援	31	50
	6 各種生産組織等に対する活動助成	各種生産組織の活動促進に向けた支援	4,107	4,200
	7 イノシシ等鳥獣害対策への支援	上越市・妙高市の鳥獣害対策協議会を通じた被害防止対策支援	4,480	5,860
	8 土づくり支援	土づくり資材への助成	12,577	13,000
生産資材	1 肥料工場直送支援	肥料工場直送利用者に対し1袋/20kg当り30円～100円を値引き	14,395	15,000
	2 床土・培土早期直送支援	10月から翌年2月までの早期直送利用者に対し1袋/20kg当り10円を値引き フレコンは別途重量換算し値引き	124	130
	3 園芸関係生産組織育成支援	園芸作物の生産振興を行う部会等に対し肥料1袋/20kg当り30円～100円、農業は2%～4%を値引き	94	100
	4 防除作業受託組織育成支援	防除作業を受託する担い手等に対し使用する薬剤の予約価格から10%を値引き	798	800
	5 水稲土づくり肥料受託施肥支援	施肥作業を受託する担い手等に対し使用した肥料1t当り2,500円を還付	—	100

支援策	支援内容	支援基準	支援額（千円）	
			令和3年度実績	令和4年度計画
生産資材	6 肥料・農業予約購入、大口利用者支援	予約購入および購入金額に応じた割引	150,645	150,000
	1 農機具購入支援	農機具に関する諸経費助成	694	800
	2 コンバイン格納整備料金支援	コンバイン整備料金の軽減支援（生産コスト軽減）	495	600
	3 JA・全農レンタル機支援	レンタル料金の軽減支援（生産コスト軽減）	131	200
農機	4 ドローン免許取得支援	免許取得支援（スマート農業普及推進）	60	90
	1 ※1 施設整備支援 農地取得支援	「担い手支援資金（アグリV）」における一般枠（設備資金、中・長期運転資金）および農地取得（農地取得、借地料等）への利子補給等	一般枠 174,950 農地取得枠 11,580	アグリV 196,000
	2 ※1 経営改善支援 金融負担軽減支援	「農業近代化」等、対象となる農業資金借入にかかる保証料相当額の助成及び利子補給による金利負担軽減	農業近代化資金 52,480 アグリマイティー資金 205,660 農機具ローン 52,350 サポートA（残高） 279,430	農業近代化資金 156,000 アグリマイティー資金等 348,000 農機具ローン 50,000
	3 為替手数料負担支援	組合員組織が依頼人または受取人の振込みにかかる手数料の免除	—	—
担い手	1 農業後継者育成支援	就農に向けて必要な知識・技術を習得できるようにJA職員として雇用	—	—
支援総額 ※2			190,235	193,010

※1 信用事業の令和3年度実績及び令和4年度計画は新規実行額です。
※2 支援総額に信用事業部分は含まれていません。

